

2020年3月18日

各位

会社名 株式会社小僧寿し
 代表者名 代表取締役社長 小林 剛
 (JASDAQコード: 9973)
 問合せ先 経営企画部室長 毛利 謙久
 (TEL. 03-4586-1122)

第6回新株予約権の発行により調達した資金の用途変更に関するお知らせ

当社は、2019年9月27日にEVO FUNDを割当先として発行いたしました「株式会社小僧寿し 第6回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）により調達した資金の用途について、変更をいたしましたので、お知らせいたします。

1. 本新株予約権の発行により調達した資金の用途変更内容および理由

当社は、本新株予約権の発行による資金調達の実施に伴い、2019年8月27日公表「第三者割当によるA種種類株式の発行（現物出資（デッド・エクイティ・スワップ））、A種種類株式の買取契約の締結、第6回新株予約権の発行及び新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」に記載のとおり、本新株予約権の調達資金について、以下の資金に充当を予定しておりました。

本新株予約権において調達した資金の用途

具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
① 有利子負債の圧縮を目的とした借入金の返済	170	2019年10月～12月
② 持ち帰り寿し店「小僧寿し」「茶月」の複合ブランド併設費用	70	2019年10月～ 2021年4月
③ 複合型宅配事業店舗の新規出店費用	250	2019年10月～ 2021年4月
④ 店舗機能増設、インフラ整備のための設備投資資金	82	2019年11月～ 2021年12月
	572	

本新株予約権の発行により調達した資金の充当状況につきまして、「① 有利子負債の圧縮を目的とした借入金の返済」につきましては、2019年10月に、借入先である株式会社JFLAホールディングスに全額返済をいたしました。「② 持ち帰り寿し店「小僧寿し」「茶月」の複合ブランド併設費用」につきましては、2019年10月～12月の期間におきまして、リブランドにかかる造作工事、看板設置工事費など、10店舗に対する設置工事費用として、19百万円を充当しております。「③ 複合型宅配事業店舗の新規出店費用」につきましては、2019年10月に、1店舗の新規出店費用として、10百万円を充当しております。「④ 店舗機能増設、インフラ整備のための設備投資資金」につきましては、2019年11月～12月の期間において、空調設備の設置工事費、冷蔵庫等の厨房設備費など、4店舗に対する費用として、3百万円を充当いたしました。

上記の資金用途に沿った資金充当を進める一方で、2019年12月期における業績の減退により、連結営業損失が△195百万円となるなど、赤字の状況にあり、運転資金に窮する状況となりました。特に、2019年10月度に生じた、記録的な台風による、大幅な売上、利益の減退によって、2019年10月度以降の運転資金を確保するために、本新株予約権の発行により調達した資金の一部を、運転資金に充当しなければ、支払未了となる状況となりましたので、本新株予約権の発行により調達した資金のうち、195百万円を運転資金として充当いたしました。

これにより、当初予定の資金用途より、下記のとおり、資金用途を変更致しました。

変更後の資金使途

具体的な使途	変更後の資金使途 (百万円)	現時点における充 当額 (百万円)	支出時期
① 有利子負債の圧縮を目的とした借入金の返済	170	170	2019年10月
② 持ち帰り寿し店「小僧寿し」「茶月」の複合 ブランド併設費用	70	19	2019年10月～ 12月
③ 複合型宅配事業店舗の新規出店費用	130	10	2019年10月
④ 店舗機能増設、インフラ整備のための設備投 資資金	7	3	2019年10月～ 2021年12月
⑤ <u>運転資金への充当</u>	195	195	2019年10月
資金使途額 合計	572	—	2019年10月
現時点における充当額合計	—	397	—

上記資金使途の変更に伴い、当初予定していた資金使途のうち「③ 複合型宅配事業店舗の新規出店費用」の資金使途に対して、120百万円の不足が生じ、また、「④ 店舗機能増設、インフラ整備のための設備投資資金」の資金使途に対して75百万円の不足が生じ、合計195百万円の不足が生じている状況となりました。

2. 今後の見通し

本新株予約権の発行により調達した資金の資金使途から、195百万円の不足が生じている状況となっております。この不足額を補い当該資金使途を計画通りに遂行するため、新たな資本政策を含めた資金調達の検討を進めてまいります。

以上